

第 5 ・ 6 学年国語科学習指導案

日 時 令和2年10月15日(木) 5校時
 対 象 6年生 8名 (5年生 5名)
 指導者 上野 洋介

1 単元名 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方についてまとめよう
教材名 「海の命」(光村図書6年「創造」)

2 単元の目標

- (1) 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 [知識及び技能] (1) オ
 (2) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
 [思考力, 判断力, 表現力等] C (1) オ
 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。
 「学びに向かう力, 人間性等」

3 単元について

(1) 児童について

- ・物語文「やまなし」では、作者である宮沢賢治の生き方や考え方について学習した。
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する力が身についてきている。

(2) 教材について

- ・主人公である太一や、太一を取り巻く登場人物の生き方や考え方が巧みに描かれていて、その山場の描かれ方とあわせて児童の興味・関心を引く作品である。
- ・自らの生活経験や生き方・考え方などと照らし合わせながら考えをまとめるのに適した教材である。

(3) 指導にあたって

- ・本単元における言語活動
 - 物語を読み、登場人物の生き方についてまとめる。
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫等
- ◆西中学区視点①【学習意欲の向上について】
 - 初発の感想から、疑問に思った点やもっとよく考えたい点などから読みの共通の課題を設定する。
 - 課題解決に向かう活動を焦点化したワークシートを準備する。
- ◆西中学区視点②【言語活動の充実について】
 - 自分の考えとその根拠となる部分をはっきり対応させて意見を伝えられるように、ワークシートを活用する。
 - 伝え合いの場面では、考えの共通点や相違点を確認し、納得した考えはメモするように促す。
 - 全体での話し合いでは、一人一人の考えを関連づけたり、根拠を確認したりしながら深めることができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使おうとしている。(1) オ	① 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 C (1) オ	① 進んで、登場人物の関係を捉え、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。

5 指導と評価の計画（7時間）

	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
第一次	1・2	<ul style="list-style-type: none"> ・単元扉や題名から物語に関心を持ち、通読して初発の感想を交流する。 ・単元の学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・意味調べをする。 ・並行読書の本（立松和平「〇〇の命」シリーズ）を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題名について考えさせるとともに、太一が何らかの影響を受けて変容・成長する物語であることを確認する。 ・初発の感想や考えについて話し合う中で、学級の関心が集まったことを取り上げながら、学習課題を設定する。 ・単元の最後にまとめる文章のルーブリックを提示する。 <p>S…人はどう生きていけばよいかということを、並行読書の本で書かれていることと「海の命」との共通点を述べながらまとめられる。</p> <p>A…人はどう生きていけばよいかということを、複数の登場人物の生き方を踏まえながらまとめられる。</p> <p>B…人はどう生きていけばよいかということを、太一の生き方と自分の生き方とを比べながらまとめられる。</p>	<p>【態】単元のためてを理解し、学習計画を立てようとしている。</p> <p>（ワークシート・発言）</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述を基に、「父」・「与吉じいさ」・「母」の人物像を捉え、太一にどのような影響を与えたかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物像につながる言葉をワークシートに例示する。 	<p>【思】登場人物の生き方や心情が分かる叙述を見つけ、そこから太一が受けた影響について考えている。</p> <p>（ワークシート・発言）</p>
第二次	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述を基に、太一が「瀬の主」をうたなかつた理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一が登場人物とのかかわりから学んだことを、紙板書に整理しておく。 ・瀬の主を前にして抱えた葛藤に焦点を当てる。 	<p>【思】太一の葛藤を捉え、心情がどのように変化したかを考えることができる。</p> <p>（ワークシート・発言）</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の命」が表すものについて、考えを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「本当の一人前の漁師」と「村一番の漁師」との違いや、太一に生じた葛藤の意味を考えられるようにワークシートを活用する。 	<p>【知】「本当の一人前の漁師」と「村一番の漁師」という語の使い方の違いに目をつけている。（観察・発言）</p> <p>【思】題名が表すものについて、自分の考えをまとめている。</p> <p>（ワークシート・発言）</p>
第三次	6	<ul style="list-style-type: none"> ・人の生き方について、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことに気を付けてまとめればよいか分かるように、全体でルーブリックを確認する。 ・教科書 P230 下段も参考にできることを伝える。 	<p>【思】文章を読んで考えてきた登場人物の生き方を、自分の生き方と比べながらまとめている。</p> <p>（ワークシート）</p>
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた文章を読み合う。 ・単元を振り返り、学習をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに評価し合えるように、ルーブリックを意識しながら読むよう促す。 	<p>【態】進んで、人の生き方について自分の考えをまとめようとしている。</p> <p>（ワークシート）</p>

6 本時の指導（4時間目／全7時間）

(1) 目標

瀬の主に対する太一的心情や見方・考え方の変化について、他の登場人物との関わりと結び付けて想像することができる。

(2) 展開

形態	段階	学習活動 ・予想される児童の反応 ※「伝え合い交流シート」参照	・指導上の留意点 ◎評価 ◆西中学区視点
共通指導	導入7分	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">なぜ太一は、瀬の主をうたなかつたのだろうか。</div>	・学習計画における本時の場面を確認する。
		2 本時の学習の見通しを持つ。	・父を破った瀬の主をうちたいという太一の夢について確認する。 ・太一が影響を受けた人物は、「父」「与吉じいさ」「母」と複数いたことを振り返る。 ◆①学習の流れを提示する。
間接指導	展開30分	3 瀬の主についての描写・太一と瀬の主とのやりとりを整理する。	・教科書 P226L8～を音読した後、ワークシートに書いてきた内容を確認め合うよう指示する。 ・瀬の主と会ってから、どのくらいの時間が経っているのか相談するよう指示する。
直接指導		4 P228L10の叙述「この魚をとらなければ、～泣きそうになりながら思う。」について話し合う。	・すぐに瀬の主に挑むことができるのに、太一はなぜ挑まないのかを問う。 ・太一にとって「本当の一人前の漁師」とはなんだったのかを問う。 ・なぜ泣きそうになっているのかを問う。 ◆①前時までに取り取っていた、太一が登場人物から受けた影響について確かめる。
間接指導		5 なぜ太一は、瀬の主をうたなかつたのかを考え、交流する。	・太一の考え方が、登場人物の影響を受けたことで変化したことを押さえる。 ◎【思】太一の葛藤を捉え、心情がどのように変化したかを考えることができている。 (発言・ワークシート)
共通指導	終末8分	6 振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">・瀬の主をうちたかつた太一がなぜうつのを止めたのか、それまでの登場人物との関わりを意識しながら読んだ。とらなければ本当の一人前の漁師にはなれないと思ったが、太一にとって海での生き方を教えてくれた父や与吉じいさ、また母の思いの方を大切にしようと思決意したのだと思った。</div>	・「何に気を付けて読んだか」「どんな学びがあったか」という観点で振り返るよう指示する。
		7 次時の学習内容を知る。	・次時は、登場人物の生き方について考えていくことを確認する。

(3) 板書計画

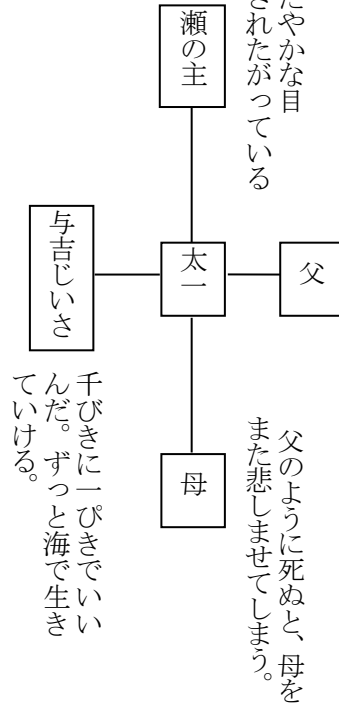
登場人物の関係をとらえ、人物の生き方についてまとめよう
海の命
立松 和平

課題 (なぜ太一は、瀬の主をうたなかつたのだろう。)

見通し 太一の心情や生き方は、登場人物の影響を受けている。

解決 必要以上にとらない。
海にけんきよ。

おだやかな目
殺されたがっている



「この魚をとらなければ、泣きそうになりながら思う。」

○太一にとって「本当の一人前の漁師」とはなにか。

・父を破った瀬の主をうつこと。

・父を超えること。

○なぜ太一は泣きそうになったのか。

・与吉いさの教えに反してしまっ。

・母をまた悲しませてしまうかもしれない。

○なぜ太一は、瀬の主をうたなかつたのか。

ふりかえり